西高だより

平成二十一年十一月二日創刊
問合わせ　西仙北高等学校
西高だより編集局
TEL　〇一八七・七五・一〇〇二

福祉の心、思いやりの心、この学校が大きく変わる時
勇気を持って「思い」を「思いやり」に

入学式

第46回目の入学式を昨日挙行いたしました。105名の新入生が小松校長より入学を許可され、西仙北高校の仲間入りをしました。隣県では大震災が落ち着かない中、新たなスタートを切った1年生はあきらめることなく、何事にもチャレンジしていってください。2、3年生は、その1年生を正しい方向へ導いていく役目を担っています。お互いに刺激しあって西高がさらに大きく飛躍できるようにしましょう。新入生を代表して石井真菜美さんが誓いの言葉を述べました。

誓いの言葉

記録的な豪雪に見舞われ、例年以上に長く感じたこの冬にも温かな日差しが降り注いでいます。この春のよき日に、私たち一〇五名はただいま秋田県立西仙北高等学校に入学を許可されました。

先月十一日の東北地方太平洋沖地震では、この東北地方の人々がたくさん犠牲になりました。その一方で極限の状態から生き抜こうとする人々の姿も見られました。私たちには温かな家族がいます。衣食住が満たされています。こうしてたくさんの方々に見守られ、新たな一歩を踏み出せます。このことを当たり前と思わずに感謝を感じなければいけません。命あるすべてのものに感謝します。

この感謝の心をいつまでも忘れることなく、新しくできる友とともに、校則を守り、何事にも諦めることなく挑戦し、心身を鍛え、社会の一員として信頼される人間になるためのさまざまな知識を学んでいきたいと強く決意しています。

そして、西仙北高等学校の一員として「希望あふれる誇り高き学舎」を先輩とともに築き上げることに努力し続けることをここに誓います。

平成二十三年四月六日
新入生代表　石井　真菜美

祝辞

柔らかく強い春の日差しはうずま高く積もった雪をとかしました。春はやってきました。冷たい雪の結晶も太陽の大きなエネルギーも小さな命に欠かせないものです。記録的に積もった雪は水となり、大地を流れ、新しい命をはぐくみます。その循環が未来永劫続いていきます。

この西仙北高校にも新しい1ページを刻んだ卒業生に代わって、大きな可能性をもった新入生がその澄んだ水のように流れてきました。

ただ今、秋田県立西仙北高等学校に入学を許可されました一〇五名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

また、晴れて今日の佳き日を迎えられた保護者の皆様方におかれましては、お喜びもひとしおかと思われます。心よりお祝いを申し上げます。

さて、先月起きた東北地方太平洋沖地震は、千年に一度と言われる甚大な被害をもたらしました。その被害は、隣県の海岸線を過去のものとまったく別のものに変えてしまいました。しかし、そこでも生き抜こうと今でも踏ん張っている方々がいらっしゃいます。ボランティアとして、被災者の方々のために寝ずに奮闘している方々がいます。その映像がテレビで流れるたびに、涙があふれてきてしまいます。私たちは今何ができるでしょうか。西仙北高校は、福祉の心を育むことが諸先輩方の築き上げた伝統の一つになっています。みなさん一人ひとりが今ある命を大切にしてください。周りにあるすべての命を尊んでください。そうすることが被災者の方々に対して私たちができることの一つではないでしょうか。そのことが先輩達の積み重ねた輝かしい伝統の延長線上にあるのではないでしょうか。

新入生のみなさんは、その先輩達に負けないよう、目標のために毎日を積み上げていってください。高校生活のゴールが見えてきた時に自分自身を信じることのできたくさんのものを身につけていってください。物事を見る視野をできる限り広くしていってください。

地域の方々はあなた方を温かく、時には厳しく、見守っています。いついかなる時もあなた方を支えてくれている人のことを忘れないでください。家庭にいる時は家族に、学校にいる時は友と先生方に、社会にいる時は地域の方々に感謝の心を持ってください。

そのためにもこの西仙北高等学校の校訓である「向学」「友愛」「強健」を実践してください。勉学に対して真剣に取り組むこと、友情と愛情の持てる友をたくさんつくること、心身ともに逞しく健康であること。この三つです。この言葉を理解して、自分の意志で行動に移さなくてはいけません。新入生の皆さんは、今抱いている初心を忘れてはいけません。感激に変えた心と今日立てた目標を忘れてはいけません。目標がその日のやるべき事を決めます。今日一日を精一杯生きている人がいることを忘れずに、一日一日妥協することなく挑戦してください。

高校の三年間は知識、友、身体いろいろなものの基礎が固まる大事な時です。自分自身を信じ、目標に向かって努力を積み上げれば、この西仙北高等学校はみなさんの先に立って、みなさんともに一緒に歩んでいってくれます。

みなさんがこの学舎で充実した高校生活を送ることを期待するとともに、本校のますますの発展を祈念し祝辞といたします。

平成二十三年四月六日
後援会副会長　佐藤　美佐子

着任式・新任式

先月茂木校長先生はじめ、たくさんの先生方とお別れしたばかりですが、4月1日から小松校長先生、青柳教頭先生、他7名の職員をお迎えしました。先生方からご挨拶をいただきました。「①前任校、②教科・科目、③西高生について一言」

【小松正孝校長】**大館国際情報学院高校から**
①大館国際情報学院高等学校
②数学
③他人の立場を考えて行動しよう。

【青柳　徹教頭】**雄物川高校から**
①雄物川高等学校
②英語
③皆さんのお父さん、お母さんが高校生だった頃、一度お世話になったことがあります。部活動や授業の楽しい思い出がたくさんありますし、西仙北高校に育てられたという思いを強く持っています。皆さんには、当時の西高生に負けず、元気で前向きな高校生活を送ってほしいですし、努力することによってしか得られない喜びの味を知ってほしいと思います。一緒に頑張りましょう！

【柴田俊英先生】**六郷高校から**
六郷高校から来ました柴田俊英（しばたしゅんえい）と言います。教科は英語ですが、1年の3クラスと2Aに行くのでよろしくお願いします。西高は強い部活動が数多くあるようなので、活躍が楽しみです。新1年生も運動部でも文化部でも全員部活動に入ってもらいたいと思います。

【恵比原真琴先生】**秋田南高等学校から**
①秋田南高等学校
②芸術・書道
③皆さんの夢は何ですか？その夢の実現と大切な高校生活のサポートのために、全力を注いで頑張ります。よろしく。

【鎌田いずみ先生】**秋田西高等学校から**
①秋田西高等学校
②芸術・音楽
③ギバちゃんもこよなく愛するこの地（魅力的な町なのでしょう）で、生徒の皆さんとともに学び、西仙北高校の魅力を探るのを楽しみにしています。それぞれの目標に向かって、一緒に頑張っていきましょう。

【加藤明子先生】**能代工業高等学校から**
はじめまして。能代工業高等学校から参りました。県南地区の出身ですが、長らく県北に居り、この度8年ぶりに県南に戻って来ました。担当教科は国語です。学校のこと、地域のこと、そして皆さんのことを色々と教えてもらい、早く西高に馴染みたいと思います。よろしくお願いします。

【中山真理先生】**雄勝高校から**
家庭科の中山真理です。雄勝高校より異動してきました。新しい環境について理解し、慣れるまでみなさんにいろいろと教えていただくことになりますので、よろしくお願いいたします。

【中山真理先生】**横手清陵学院高校から**
①横手清陵学院高等学校
②地歴公民科
③楽しい学生生活になるよう一生懸命応援します。よろしくお願いします。

【佐藤彰洋技師】**秋田北高校から**
①秋田北高等学校
③生徒の皆さんにはいろいろ手伝ってもらうことがあると思うのでそのときはよろしくね！

部活だより

【バドミントン部】
今月上旬に予定されていた鶴岡大会が震災の影響で中止になりました。28日～は春季バドミントン選手権が予定されています。いいスタートが切れるように頑張ります。

【野球部】
9日から予定されていた春季リーグ戦の前半戦が雪のために中止になりました。開幕戦が早くて17日の能代商業との練習試合が翌週のリーグ戦になりそうです。

4月の行事予定

7日　**生徒会入会式**
　　駅玄関指導
8日　**個人写真・身体測定**
13、14日　**内科検診**
　　歯科検診
15日　各種検診が続きます。休まずに受けるようにしましょう。
18日～　**面談週間**
担任の先生方を中心として、面談を実施します。新しい生活のスタートに際して悩んでいることや進路についての確認をします。
19日～　**応援歌練習**
応援委員の先輩方が校歌を新入生に教えます。実質3日間で覚えることになりますので、事前に配布された生徒手帳等をよく読んでおきましょう。
21日
26日　生徒総会にて、今後の予算の使い方や行事等の確認をします。積極的に参加しましょう。
28日　**PTA総会・評議員会**
今年度の総会は平日開催となりました。ぜひ。都合を付けてたくさんの方々に出席していただきたいと思います。今年度は授業参観も予定しています。